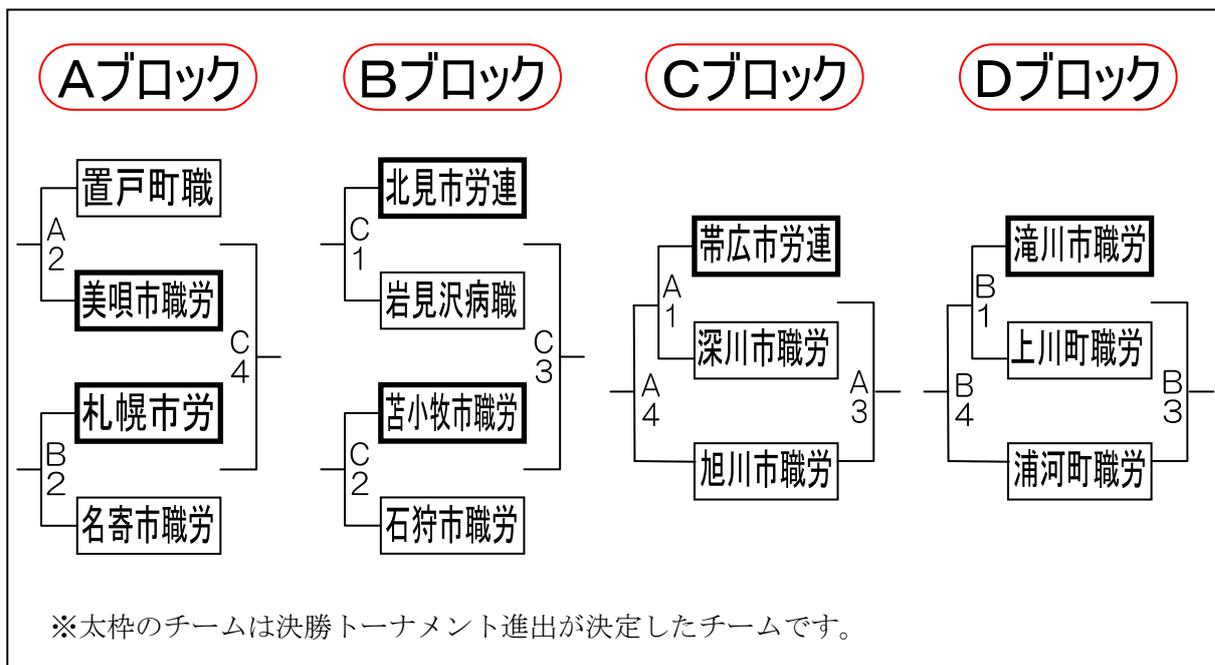


## 予選から激闘！！

## 決勝トーナメント進出はどのチームに？！

大会はすでに予選が始まって、各会場では決勝トーナメント進出に向けた熱いたたかいが始まっています。



優勝経験もある古豪北見市労連と、これが公式戦初戦となる岩見沢病職との対戦。第1セットは、岩見沢病職が初戦の緊張で調子をつかめない中、北見市労連が、10番高畠の強烈なサーブと3番佐賀、8番池田の強打で圧倒。第2セットに入っても、総合力で上回る北見市労連を岩見沢病職が切り崩すことができず、一方的な展開でゲームセット。

**予選 C-1**

岩見沢病職	○	$\begin{pmatrix} 4-21 \\ 6-21 \end{pmatrix}$	=	北見市労連
-------	---	--	---	-------



優勝候補の一角、帯広市労連と開催地深川市職労の対戦。第1セット、帯広市労連は、立ち上がりから相手のミスで着実に点数を取る展開となり、一方、深川市職労も1番の野村選手に球を集めて反撃するが及ばず。第2セット、深川市職労も反撃し、健闘するが守備に優る帯広市労連の固い守備を崩すことができず2セット目も落とした。

**予選 A-1**

帯広市労連	=	$\begin{pmatrix} 21-5 \\ 21-10 \end{pmatrix}$	○	深川市職労
-------	---	---	---	-------



# 予選から熱いぞ！

序盤から上川町職労のリードで試合が展開し、上川町職労三瀬選手の連続スパイクなどで7点とり、21-9で上川町職労が1セット先取。2セット目はラリー戦となり、滝川市職労が21-17でタイに持ち込む。3セット目は中盤から滝川市職労の近江選手のスパイクなど13連続得点で、滝川市職労が21-10で逆転勝利。

## 予選 B-1

滝川市職労	2	$\begin{pmatrix} 9-21 \\ 21-17 \\ 21-10 \end{pmatrix}$	1	上川町職労
-------	---	--	---	-------



前々年度優勝の苫小牧市職労は、大きな選手が多いチーム。対する石狩市職労は小さな選手が多いチーム。苫小牧市職労は、産休明けのエース9番レフトの岩田が高さと速さのあるスパイクを決めるのが目立つが、どこにあけてもランダムにきめてくる。石狩市職労は2番ライト黒田のスパイクが決まりだし、レシーブも粘るが力及ばず2セットを落とした。

## 予選 C-2

石狩市職労	0	$\begin{pmatrix} 9-21 \\ 7-21 \end{pmatrix}$	2	苫小牧市職労
-------	---	--	---	--------



序盤は、美唄市職労が3番・安成を中心に得点を挙げ、置戸町職を大きく突き放す。対する置戸町職も序盤は固さが見られたものの、10番・道原、8番・早坂がそれぞれ左右からのアタックを決めながら追い上げを図った。試合後半には、長いラリーが何度も続く展開となったが、ラリーのたびに相手の一枚上をいった美唄市職労が試合を制した。

## 予選 A-2

置戸町職	0	$\begin{pmatrix} 14-21 \\ 14-21 \end{pmatrix}$	2	美唄市職労
------	---	--	---	-------



序盤から、札幌市労は5連続ポイントを挙げる猛攻を見せる。中盤もサーブポイントで一気に突き放しにかかります。終盤は名寄市職労11番・高嶋のスパイクで追いつがるも、最後まで追いつくことができずに2セットを落とした。

## 予選 B-2

札幌市労	2	$\begin{pmatrix} 21-13 \\ 21-11 \end{pmatrix}$	0	名寄市職労
------	---	--	---	-------



勝った札幌市労の小西監督のコメント：

「ベスト4を目標にがんばります！」

# 決勝トーナメントに向けてガンバル！！